

求人施設支援

現在いる医師の
+ 出産・子育て +

産休・育休の際の代替医師を
紹介していただき、
助かりました。



DATA

医療法人社団 忠医会 大高病院

【施設情報】

- 理事長／病院長：大高 祐一
- 所在地：東京都足立区
- 開院：2013年
- 病院類型：一般病院／東京都指定二次救急医療機関
- 病床数：82床
- 診療科目：救急科・内科・循環器内科・小児科・脳神経外科・皮膚科・形成外科・美容皮膚科・リハビリテーション科・精神科（リエゾンのみ）

患者さん・ご家族の悩みを取り除くために救急医療を行い、人を支えていく病院です。①地域住民に対するアジェントケア ②二次救急のなかでも搬送困難になりやすい症例を積極的に受け入れる ③救命救急センターのバックアップの役割を果たす ことで、地域への貢献を目指しています。



左：大高 祐一 理事長、右：松本 学 法人本部 本部長

■ 女性医師バンクを利用した感想

——まず、女性医師バンクはどのようにしてご存知になりましたか？

松本（以下、松）：ダイレクトメールで知り、登録料もかからないので登録だけしていました。今回、産休・育休が発生したため、代替医師の紹介を依頼しました。

——これまで産休・育休についてはどのようにご対応されておりましたか？

大高（以下、大）：当院は設立7年目で、医師の産休・育休取得は2回目です。前は院内の医師で業務を分担したのですが、今回はその対応が困難でした。

松：産休に入った先生は常勤の小児科医で、一人で外来を担当していました。復職意向もあるため、これ以上常勤医師を雇用するわけにもいかず、非常勤で短期間だけ働いてくれる方を探していました。

——女性医師バンクをご利用されてみて、いかがでしたか？

松：民間の紹介業者からもオファーはありますが、ほとんどが常勤の先生で、期間限定の先生を探すのが難しいんです。ですから大変助かりました。紹介手数料がかからないのも良いですね。

大：女性医師バンクに登録されている先生は、日本医師会のような公的なところと連絡を取ることを厭わない方ですから、しっかりされていて安心感がありました。

松：担当の先生が交替することで、患者さんが離れてしまうかもしれないという懸念もありましたが、そのようなこともなく、しっかり診ていただきました。

大：ご紹介いただいた先生は専門医資格をお持ちでしたから、安心して診療をお任せできましたし、何より患者さんやスタッフの話をしっかり聞き、コミュニケーションできる方で良かったです。

■ 現在の女性医師支援と、今後の展望

——現在、貴院ではどのような女性医師支援を行っていらっしゃいますか？

大：当院の医師は非常勤医師を含め約4割が女性で、子育て中の医師も多いため、週30時間の時短勤務制度を導入しています。また院内保育所も併設しています。急な有給休暇の取得や欠勤についても、できる限り対応するようにしています。

松：今後も、よりワークライフバランスを保ちやすい職場にしていきたいですね。産休・育休以外にも、計画的な休暇の際の代替をお願いできれば、より働きやすい職場になるのではないかと思います。

——今後、女性医師バンクにはどのような支援を期待されていますか？

大：登録者数を増やしてほしいです。民間に登録する前にこちらに登録するような形になればいいですね。女性医師バンクを知らない先生もまだいらっしゃると思うので、ぜひPRしていただきたいです。

松：現状は登録者が女性医師だけのため、診療科の偏りがあるのが気になりますが、今後、男性医師やシニア医師が登録されるようになれば、それも解消されていくのではないかと思います。当院には医師の定年はありませんから、元気な方なら、シニアの先生の勤務も歓迎いたします。